

勇往邁進

Vol.25
R7.11.28

港区立御成門学園御成門中学校

☆体験学習～協力してつくる楽しさと、チームワークの大切さ～

11月25日（火）の5、6時間目に、全クラスでブロックのおもちゃを使った体験学習を行いました。今回は、ただ作品を作るのではなく、「チームで協力して一つのものをつくるときに大切なことは何か」をみんなで考えながら取り組む学習でした。

活動では、「できるだけ高いタワー」「できるだけ長い橋」「港区の未来の街づくり」の3つのテーマに挑戦しました。どの班もアイデアあふれる個性的な作品ばかりで、相談し合いながら工夫を重ねる姿が印象的でした。

「チームで協力するときに、大事だと思った行動や言葉は何ですか？」という質問に、生徒たちから次のような意見が出ました。「全員の意見を形にしようとする。」「みんなの意見を共有する。」「相手の気持ちを考える。」「ナイス、めっちゃいい、など前向きな声掛けをする。」「役割分担をしてそれぞれ行動する。」「みんなで決めたルールや進め方に従う。」「まずは自分の意見を伝える。」

一つのものをつくる過程で、仲間の意見を尊重し、良いところを認め合う姿勢が多くの班で見られました。

「チームで協力するときに、なくしたいと思った行動や言葉は何ですか？」という質問に対しては、生徒たちから次のような意見が出ました。「相手を傷つけるようなマイナスな発言をする。」「勝手に一人で進めてしまう。」「活動に関係のないことをしてしまう。」「他人の意見を最初から否定したり、無視したりする。」など、自分たちで改善点に気づけたことも大きな学びでした。

今回の体験を通して、協力の楽しさとともに、チームで目標に向かう難しさや面白さを実感した様子がうかがえました。今後の学校生活や行事、さらには日々の学習にも今回の学びを生かしていくことを期待しています。

《体験を通して、学校生活で生かしたいことは何ですか？》～生徒からの感想より～

- ・席替えをしたばかりで、あまり話したことがない人もいましたが、今回の体験を通して、仲良くなれたと思います。これからは受験でストレスが溜まってしまうかもしれません、今回の体験を思い出して、仲良く協力し合えたらいいと思いました。
- ・自分の意見をしっかりと伝えた上で、相手の意見もしっかりと聞いて話し合うことが大切だと思いました。へらへらすることと緊張することの真ん中を真剣に楽しみたいと思いました。
- ・今回の体験で仲間に対する声掛けや行動が大切だと分かりました。体験をしているときに、「ナイス」とか「いいじゃん」という良い声掛けがたくさんあって、とても良いと思いました。そのため明るい雰囲気で体験することができたので、これからもこのことを生かしていきたいと

思いました。

- ・楽しさが多くある半面、話をしっかりと聞くとか、班員ができていなかったときに注意することができなかつたので、メリハリをつけて楽しむことができるようになれば良いと思いました。
- ・グループ活動をするときには、それぞれが自分ができることを探して役割分担をし、それを相手のことをよく考えて、共有することが大切であると思いました。
- ・一人で抱え込まずに、周りの友達にも頼って、楽しく元気に過ごすことが大切であると思いました。

☆生徒のスピーチ

9年1組

みなさんはお菓子が好きですか。僕はお菓子が好きでたくさん食べてるのですが、友達にそんなに食べると糖尿病になるとと言われたので、糖尿病について調べてみました。

まず糖尿病の一番の原因是、食生活の乱れです。食べ過ぎや糖分の取りすぎ、睡眠不足、運動不足も原因になります。もし食べ過ぎて糖尿病になると、喉がすぐ渴いたり、食事量が減る、または増えるのに体重が減ってしまったり、血糖値が上がって傷が治りにくくなってしまいます。

さらに、糖尿病が進行すると手足が痺れたりするそうです。そして一度糖尿病になってしまふと完治は非常に難しいそうです。糖尿病にならないためには適度な運動やバランスの取れた食事が必要です。僕は糖尿病にならないためにお菓子の食べ過ぎをやめたいと思います。みなも糖尿病にならないように、適度に運動をしたりして対策するようにしましょう。

9年2組

突然ですが、今日から卒業まであと112日になりました。皆さんは、卒業までにしたいことはありますか。今回は私が卒業までにしたいことを話します。

まず「1人で旅行する」ことです。私は基本的に、家で過ごすことがとても多いので、たまには1人でどこかに出かけたいと思いました。

次は「お泊まり」をすることです。修学旅行などでしか、友達と夜を過ごしたことがないのでプライベートで過ごしたいなと思いました。

もう残りこのメンバーで過ごす時間は少ないので、今までできることを見つけてやってみてください。

9年3組

突然ですが、皆さんは誰かに「お願い」をするとき、相手の左右どちらの耳に話しかけるかを意識したことはありますか。実は、この「どちらの耳か」が、あなたの頼み事が受け入れられるかどうかに大きく影響するかもしれない、という興味深い研究結果があります。

ある研究によると、頼み事を右耳から話しかけた場合、左耳から話しかけた場合よりも承諾率

が2倍になったというのです。これは、「右耳優位性」と呼ばれる脳の働きによるものと考えられています。右耳から入った音声情報は大半が言語処理を司る左脳に伝わります。そのため、言語的な理解や論理的な判断がしやすくなるとされています。

一方、左耳から入った情報は主に右脳に伝わり、こちらは感情などの処理に関連しています。つまり、論理的に「お願い」の内容を理解してもらうには、左脳に直結しやすい右耳が効果的なのです。私たちは、日常生活で言葉を通じて様々な依頼や相談をします。もし、どうしてもお願いしたいことがあるときは、この「右耳の法則」を試してみてはいかがでしょうか。少し意識するだけで、コミュニケーションがより円滑に進むかもしれません。